

ただ「楽しい」だけじゃない、文化発信拠点の場

PBL(*注)集大成としての文化祭を開催

～人と人との“結ぶ”をテーマに、新たな自分と他者に出会う～

聖学院中学校・高等学校(東京都北区、校長:角田秀明)は、2018年11月2日(金)ー11月3日(土・祝)に、第112回目となる文化祭(聖学院本校での呼称は“記念祭”)を開催します。文化祭テーマは「結(ゆい)-今までにないものを-」で、生徒同士が繋がりが合い、結びつき合って「新しいものを生み出す」ことを意図しています。文科省委託事業として発行された上越教育大学編『総合的な教師力向上のための 調査研究事業実施報告書』、平成28年度でも指摘されている通り、「PBL型授業の重要性」が益々高まる中、本校では自ら課題を設定し、チームで解決していく力を養う授業を展開しています。PBLの集大成として、男子校で成長した生徒たちが自らの個性を最大限に生かし、文化活動の発信を行います。

【コンセプト】

①男子生徒の趣味趣向が、そのまま最大限に生かされるPBL

良い意味で、専門性の高いオタクな発表が伸び伸びと行えるのも本校の特徴の一つです。聖学院では、物理、生物、化学、鉄道研究部など、様々な分野に自由に伸びてゆく男子生徒の興味関心を引き出しながら、ただ楽しいからではなく、文理融合型のアプローチで課題発見・解決能力を育成するPBLを採用しています。

②戦後から受け継がれる、保護者から生徒へのサービス精神

模擬店やバザー、茶屋などを保護者自らが手作りで運営します。そこにあるのは少しでも生徒たちの笑顔を増やしたいという保護者から生徒への温かな眼差しです。学校と保護者が一つになって男子生徒を育てる思いが形となり、「面倒見の良い学校」という評判につながっています。

③聖学院中高×女子聖学院中高による「中夜祭(非公開)」企画

聖学院では中学・高校が男女別学ですが、プロジェクト単位では共に学び合う企画があります。「中夜祭」もその一つで、男子600名、女子600名が講堂に集い「Mコン」と呼ばれるミュージックコンサートを自ら企画、運営。有名歌手に扮する男子の歌やダンス、毎年全国大会に出場する女子チアリーディング部の発表等に大きな歓声があがります。



注) PBLとは？

PBLはProblem-based Learningの略で、日本語では課題解決型学習や問題発見解決型学習などと訳されています。2020年の学習指導要綱改訂にあたり、文部科学省は「主体的・対話的で深い学び」の重要性を強調しています。そんな中、アクティブラーニングの手法として有力なのが、「PBL」です。

※学校法人聖学院はグローバル・コンパクトに署名・加入、SDGsをめざした活動を行っています。

※SDGs…2030年までの実現をめざし掲げられた、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」



【取材に関するお問い合わせ】

学校法人聖学院 学院広報センター 担当 松田・萩野

Tel:03-3917-8530 Email:pr_h@seigakuin-univ.ac.jp

www.seig.ac.jp

《参考》

学校法人聖学院

創立 1903年

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2

【教職員の概要(本務)】

大学教員 97

中高教員 107

小幼教員 32

教員計 236

職員 120

※ 教職員数は2018年5月1日現在(大学院ならびに総合研究所教員は大学教員の内数)

【聖学院各校情報】

所在地 学校法人聖学院

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2

聖学院大学・聖学院大学大学院 学生数:1,918人

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1

聖学院中学校・高等学校 生徒数:873人

〒114-8502 東京都北区中里3-12-1

女子聖学院中学校・高等学校 生徒数:763人

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2

聖学院小学校 児童数:435人

〒114-8574 東京都北区中里3-13-1

聖学院幼稚園 児童数:121人

〒114-8574 東京都北区中里3-13-2

学院みどり幼稚園 児童数:92人

〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷820

※学生・生徒・児童数は2018年5月1日現在